日新聞　第3種郵便物認可

卓球の新星育て 元営業マンの夢

岡本さん 鳥栖でクラブ立ち上げ
「まずは佐賀国体に選手出す」

14歳の全日本王者が生まれるなど、卓球の話題が熱い。そんななか、頂点をめざす選手を育てようと脱サラした男性が鳥栖市内で卓球クラブを立ち上げた。これまで全国を転勤し、行く先々で強豪クラブに我が子を通わせてきた。その経験を生かし、今後は地域の子どもの育成に力を注ぐ。

卓球の指導をする岡本篤郎さん（左端）＝鳥栖市桜町の鳥栖卓球センター

岡本篤郎さん(48)。転勤族の家で育ち、自身も転勤族の営業マンだった。小学生で卓球を始め、就職後の一時期を除きラケットを振ってきた。全日本選手権の40代の部で全国大会に出場したこともある。

双子の長女と長男が4歳だった2004年、アテネ五輪に卓球の福原愛選手が15歳で五輪初出場。その活躍を家族が支えるドキュメント番組をテレビで見て心が動いた。2人の子を連れてクラブの門をたたいた。

当時は松山市。その後も宮城、愛知、岐阜などへと転勤が続いたが、引っ越し先で評判のクラブを探して親子で通った。平日も勤務が終わると練習場に直行し、コーチの指導を見守り、子どもの自主練習では球出しに付き合った。

16年春、2人の子がそれぞれ別の卓球強豪高校に入学。手が離れたのを機に「年齢的に最後のチャンス」と早期退職し「クラブを持つ」夢にかけた。実家のある福岡県太宰府市に近く、子ども向けのクラブがない鳥栖市を選んだ。

市主催の地域スポーツクラブ「フィッ鳥栖」に登録し、中学の体育館を間借りして練習開始。昨年12月、同市桜町の運送会社の倉庫を改修した「鳥栖卓球センター」の開業にこぎつけた。広さ約250平方㍍。コンクリートの床に厚い板材を張り、照明も換え、6台の卓球台を置いた。

現在は8歳から中高年まで二十数人が一般とジュニアの部に分かれて練習している。基里中1年の木谷颯太君(12)は学校に卓球部がなかったため昨年7月に入会。地区大会で上位の成績を収めるなど力をつけてきた。「練習はきついけど楽しい」と話す。

岡本さんは実業団などでの選手・コーチ歴はないが、「11の県で卓球をしてきた」強みを生かしたいという。「遠回りした分、様々な指導者を目の当たりにしてきた。その経験を生かし、こうすれば強くなるという道を教えたい」。1月に日本体育協会公認の上級指導員の資格も取った。

卓球界は若い世代の台頭が著しい。1月の全日本選手権では17歳の伊藤美誠選手が女子の単・複・混合の3冠を達成。男子は14歳の張本智和選手がリオデジャネイロ五輪銅メダルの水谷隼選手を破って優勝し、一躍、時の人になった。そうした卓球ブームが、見知らぬ街で挑戦を始めた岡本さんの背中を押す。当面の目標は23年の佐賀国体に「選手を送り込むこと」と意欲を燃やしている。

県卓球協会によると、県内のジュニア向け卓球クラブは岡本さんの設立分を含め22。同協会の江崎育郎事務局長は「県内で自前の練習場を構えるクラブは少なく、岡本さんの取り組みは県の卓球のレベルアップにつながると思う」と期待を寄せている。

鳥栖卓球センターは午前10時～午後9時（日曜は5時まで）に営業し、月曜が定休。問い合わせはセンター（0800・1775・5803）へ。

（遠山武）

周辺児童・生徒 2割が「不安感」
ヘリ墜落うけ調査

陸上自衛隊のAH64D戦闘ヘリコプターが5日に神埼市で墜落した事故で、現場近くの2小中学校に通う児童・生徒の約2割が不安感を持っていることが市教委への取材で分かった。スクールカウンセラーが「眠れないことはあるか」「急に不安になることはあるか」など17項目についてアンケートを実施。分析の結果、対象約530人のうち約110人に不安感があると判断した。

対象は千代田中部小、千代田中の子どもたち。事故後、学校ではスンセラーが個別じるなどの対応る。市教委の担後も子どもの様く観察し、継続たい」としてい

みやき町議選 19人が立候補
18日投票

みやき町議選(定数16)が13日告示され、現職15、新顔4の19人が立候補を届け出た。党派別では自民1、公明1、共産1、

期日前投票は午前8時半～午前庁舎で。投票は時～午後8時、であり、同9時ユニティーセンもす館で開票さ

町議選の候補者

◇みやき町
（定数16―候補19）

山内	義晃	64	無現
中尾	純子	65	共現
岡	友清	68	無現
末安	長夫	66	無新
本村	鶴夫	65	無現
益田	清	67	無現
岡	広明	73	無現
吉村	哲雄	66	無新
大石	安弘	61	無現
目野	さとみ	59	公新
古賀	通	72	無現
田中	俊彦	70	無現
古賀	秀実	72	無現
松信	彰文	71	無現
宮原	安典	76	無現

※年齢は投票日現

23日の神戸戦
チケットプレゼント